

和歌山県鉱工業生産指数の平成 22 年基準改定の概要

和歌山県企画部企画政策局調査統計課

1. 改定の趣旨

鉱工業生産指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成 22 年 3 月統計基準設定）において「指数の基準時は、5 年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が 0 又は 5 である年とする」とされていることから、本県もこれに合わせて平成 22 年（西暦 2010 年）を新たな基準とし、ウエイトや採用品目の見直しを行いました。

2. 基準年次

平成 22 年を基準年次とします。したがって、指数値は平成 22 年の年平均を 100.0 とした比率で示され、ウエイトは平成 22 年の産業構造によります。

3. 業種分類

原則として日本標準産業分類（第 12 回改定）に準拠した業種分類に基づき、利用の便宜上、若干の組替を行っています。総合指数は鉱業を除く「製造工業」とし、全 13 業種に分類しました。

- I. 「電気機械器具製造業」、「情報通信機械器具製造業」、「電子部品・デバイス製造業」を統合し、「電気機械工業」としました。
- II. 旧「一般機械工業」を「はん用・生産用・業務用機械工業」とし、その内訳を「はん用機械工業」、「生産用機械工業」、「業務用機械工業」に分割するとともに、一部の品目を「電気機械工業」に移動しました。また、旧「精密機械工業」を「業務用機械工業」に統合しました。

4. 採用品目

「経済産業省生産動態統計」等を基に継続的な調査データを得られる品目について、代表性、重要性等を考慮した結果、152 品目（参考 3 品目を含む）を選定しました。

5. ウエイト

付加価値額ウエイトを採用し、製造工業全体を 10,000.0 とした構成比で表しています。業種別ウエイトは、「平成 22 年工業統計」を基礎データとし、品目別ウエイトは「平成 22 年工業統計」のほか「経済産業省生産動態統計」などにより単価、金額などを推計し、業種別ウエイトを採用品目の金額構成比により按分しました。

6. 算式

算式は、各品目の基準時（平成 22 年）の付加価値額のウエイトによって加重平均するラスパ
イレス算式を用いています。

$$\text{指数} = \frac{\left[\frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時のウエイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時ウエイトの総和}} \times 100$$

7. 季節調整

センサス局法 X-11 を採用しています。

8. 新基準と旧基準の接続

平成 22 年基準指数は、平成 20 年 1 月まで遡って作成しています。

平成 15 年 1 月～平成 19 年 12 月までについては、旧基準指数にリンク係数を乗じて、便宜的に平成 17 年基準に接続できます。

$$\text{リンク係数} = \frac{\text{平成 22 年基準の平成 20 年 1～3 月平均季節調整済指数}}{\text{平成 17 年基準の平成 20 年 1～3 月平均季節調整済指数}}$$

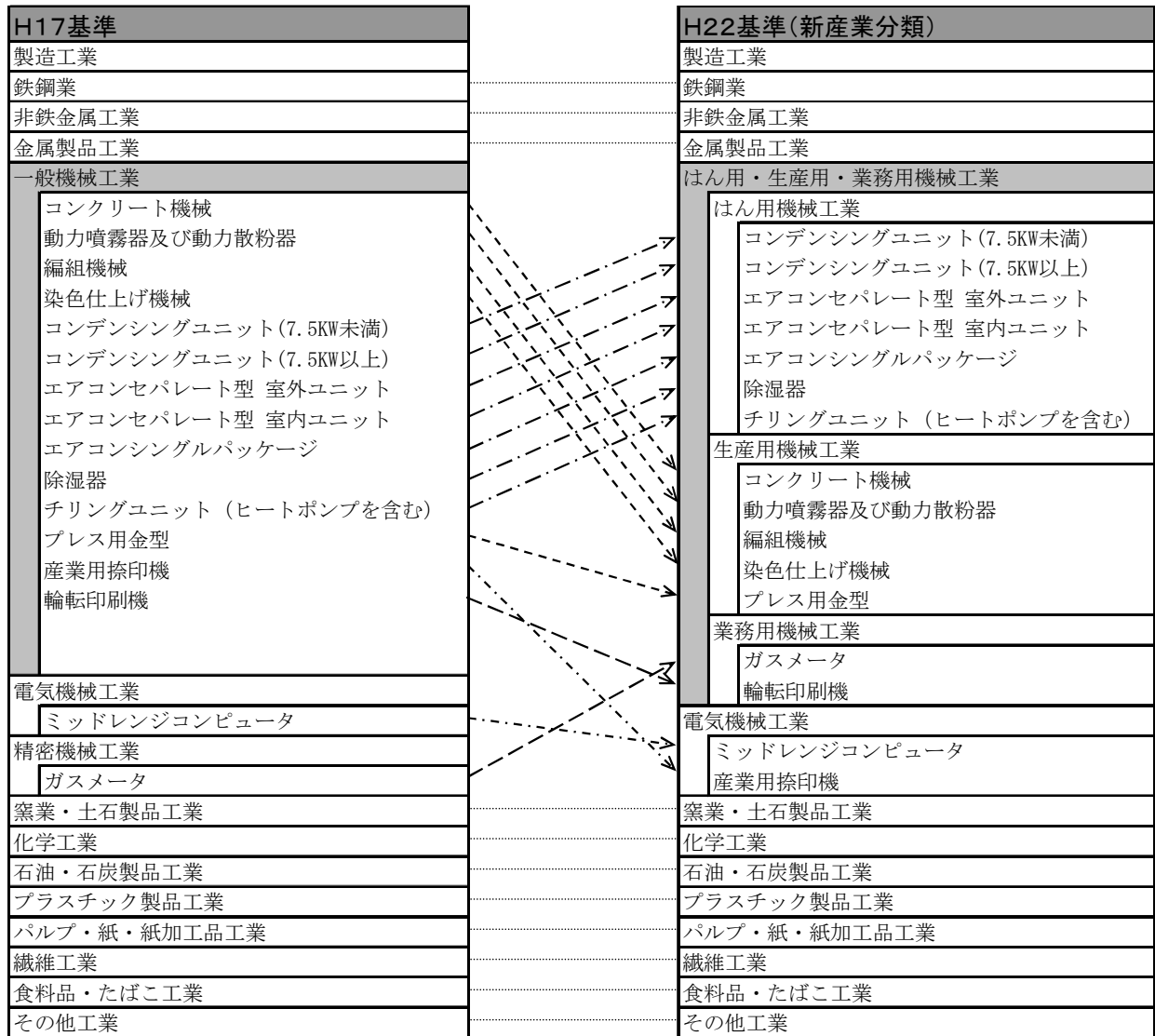
新旧基準の業種別付加価値額ウエイト及び 採用品目数の比較

業種分類名	付加価値額ウエイト			採用品目数		
	2010年 (平成22年)	2005年 (平成17年)	増減差	2010年 (平成22年)	2005年 (平成17年)	増減差
製造工業	10,000.0	10,000.0		149	156	▲ 7
鉄鋼業	1869.3	3786.1	▲ 1916.8	22	22	0
非鉄金属工業	54.9	19.4	35.5	3	4	▲ 1
金属製品工業	489.4	64.6	424.8	6	6	0
はん用・生産用・業務用機械工業	2898.6	-	-	13	-	-
はん用機械工業	2183.1	-	-	7	-	-
生産用機械工業	534.8	-	-	4	-	-
業務用機械工業	180.7	-	-	2	-	-
電気機械工業	360.5	90.4	270.1	5	2	3
窯業・土石製品工業	144.5	158.6	▲ 14.1	7	6	1
化学工業	2293.1	2503.6	▲ 210.5	40	42	▲ 2
石油・石炭製品工業	586.9	498.2	88.7	15	13	2
プラスチック製品工業	328.7	220.1	108.6	5	4	1
パルプ・紙・紙加工品工業	67.9	76.4	▲ 8.5	3	3	0
繊維工業	303.9	453.8	▲ 149.9	14	20	▲ 6
食料品工業	281.0	209.3	71.7	6	6	0
その他工業	321.3	351.5	▲ 30.2	10	11	▲ 1
ゴム製品工業	146.1	125.7	20.4	3	4	▲ 1
皮革製品工業	7.4	12.0	▲ 4.6	2	2	0
家具工業	41.5	39.2	2.3	3	3	0
木材・木製品工業	82.3	135.7	▲ 53.4	1	1	0
その他製品工業	44.0	38.9	5.1	1	1	0
(参考)機械工業	3259.1	1658.4	1600.7	18	19	▲ 1
(参考)一般機械工業(旧分類)	2930.6	1566.9	1363.7	13	16	▲ 3
(参考)精密機械工業(旧分類)	-	1.1	-	-	1	-
(参考)公益事業	540.6	602.4	▲ 61.8	3	3	0
(参考)産業総合	10540.6	10602.4	▲ 61.8	152	159	▲ 7

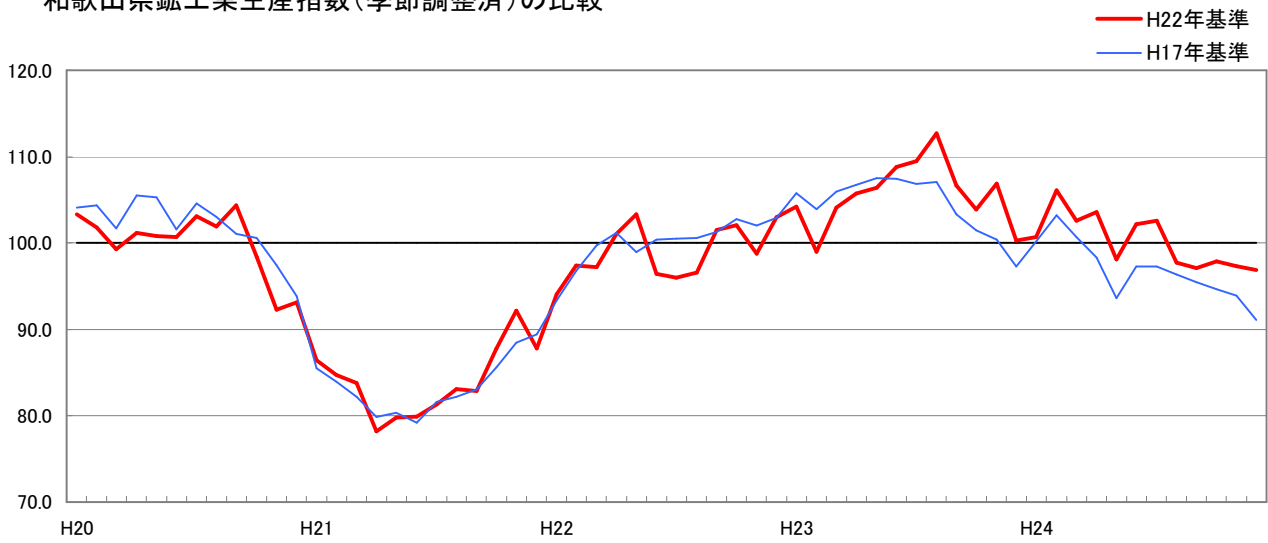
新規採用品目及び廃止品目

	H17年基準 (廃止15)	H22年基準 (新規8)
非鉄金属	銅絶縁電線 電力用電線・ケーブル	-
一般機械	コンクリート機械計 冷凍機応用製品 冷凍・冷蔵ユニットその他 補器 ファンコイルユニット	
電気機械	固定抵抗器 その他	トランス インダクタ 電子回路基板計 電送計器 その他の電気測定器
窯業土石	-	道路用コンクリート製品
化学	液化窒素 ユリア樹脂計	-
石油石炭	アスファルト	パラフィン 回収いおう その他の石油製品
プラスチック	-	フィルム計
繊維	綿糸 アクリル糸 ポリエステル糸 ビスコース紡織物 ニット製外衣 組ひも	-
ゴム製品	その他の工業用ゴム製品	-

業種分類の新旧比較

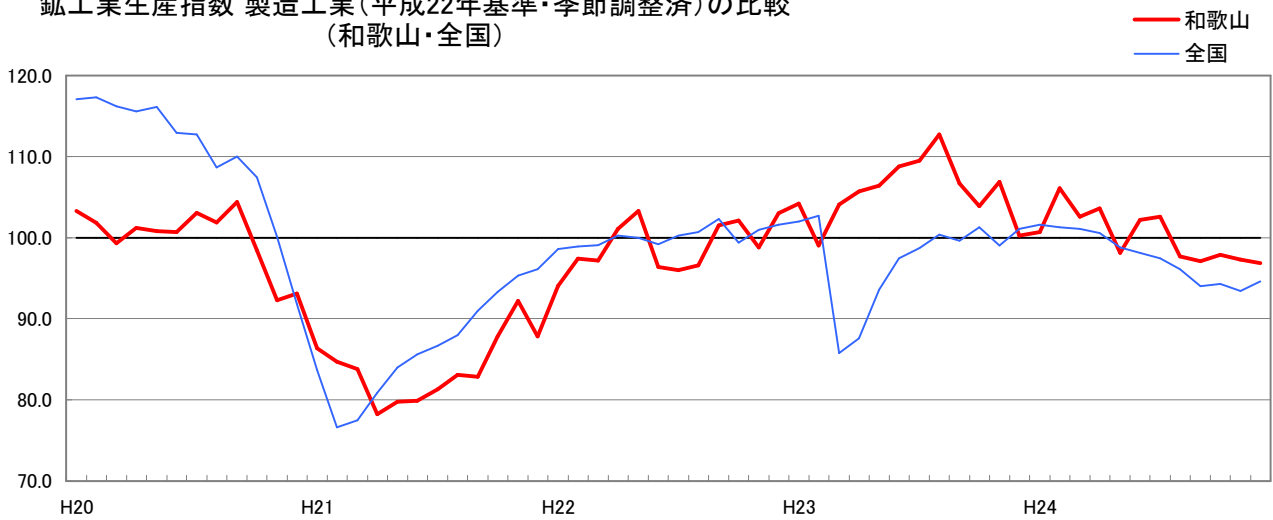


和歌山県鉱工業生産指数(季節調整済)の比較



注) 比較のため、H17基準をH22=100に換算しています。H17基準のH24年値はH23年の季節指数を用いて算出しています。

鉱工業生産指数 製造工業(平成22年基準・季節調整済)の比較 (和歌山・全国)



(参考) 鉱工業生産指数 製造工業(平成17年基準・季節調整済)の比較 (和歌山・近畿・全国)

